

|                         |  |   |  |
|-------------------------|--|---|--|
|                         |  | 赤煉瓦倶楽部舞鶴 会報   |  |
|                         |  | 発行人/会長 吉岡博之   |  |
|                         |  | 編集人/小野 章  |  |
|                         |  | 〒625-0062 舞鶴市森973番地の1   |  |
|                         |  | FAX/0773-63-9764  |  |
|                         |  | E-mail brick7388@yahoo.co.jp                                  |  |
| 赤煉瓦倶楽部舞鶴                |  |   |  |
| 会報126号 令和6年(2024年)4月15日 |  |   |  |
| 「赤煉瓦倶楽部舞鶴」ホームページ        |  | <a href="http://www.redbrick.jp/">http://www.redbrick.jp/</a> |  |

目次

|                              |               |
|------------------------------|---------------|
| 1. 舞鶴線を支える赤煉瓦ツアーで特定できた煉瓦製造地域 | 4. 市外視察旅行のご案内 |
| 2. 日立造船の創業者エドワード・H・ハンター      | 5. 図書のご紹介     |
| 3. 令和6年度赤煉瓦倶楽部舞鶴総会のご案内       |               |

|                              |            |
|------------------------------|------------|
| 1. 舞鶴線を支える赤煉瓦ツアーで特定できた煉瓦製造地域 | 矢野江美子 (会員) |
|------------------------------|------------|

筆者は昨年10月22日(日)に当倶楽部が実施した「舞鶴線を支える赤煉瓦を巡るバスツアー」に参加しましたが、鉄道施設建設に使用された煉瓦の生産地が大阪府泉州地域であると特定できました。煉瓦に残された煉瓦製造会社の刻印によるものです。本稿では、今回発見した刻印の数の多い順に、刻印の写真と煉瓦製造会社の概要をご紹介します。また、今後発見された刻印についてまとめられましたら会報で報告いたします。なお、添付写真は当倶楽部が撮影したものです。

◆貝塚煉瓦株式会社[大阪府貝塚市]

ここでは菱形と正方形に近い形の2種類の井桁が見られた。貝塚煉瓦株式会社は、第一煉瓦製造貝塚工場を買収し、1894(明治27)年に貝塚煉瓦株式会社として創業した。主な販売先は大阪・神戸で、多くは鉄道・倉庫用に提供された。1907(同40)年、貝塚煉瓦(株)は大阪窯業(株)と合併して同社貝塚工場となり、舗装用煉瓦、耐火煉瓦などを製造した。

◆岸和田煉瓦株式会社[大阪府岸和田市]

旧岸和田藩土山岡伊方らが1872(明治5)年9月土族授産の一環として煉瓦製造を開始した。この煉瓦製造所は一旦途絶えるが、同志社の創立者新島襄が岸和田でキリスト教伝道時に山岡は入信、人々を救い労働を創出する目的で1887(同20)年第一煉瓦製造会社を設立。1893(同26)年には岸和田煉瓦株式会社と社名を変更し、ホフマン窯、機械による成形など技術革新を行い、大阪府下で一番遅く1988(昭和63)年まで煉瓦の製造を続けた。刻印は十字。



貝塚煉瓦刻印2種



岸和田煉瓦刻印

#### ◆堺煉瓦株式会社[大阪府堺市]

堺煉瓦株式会社は、1893(明治26)年6月堺市吾妻橋通で創業し、ホフマン式輪窯を有し、主に水運(和船)で出荷していた。海路で大阪、神戸から九州、台湾等へ販路を広げたが、利益が安定せず無配当の時期もあり、1920(大正9)年頃に解散した。刻印は分離型の大の字。

#### ◆日本煉瓦株式会社[大阪府堺市]

日本煉瓦株式会社は、1896(明治29)年10月、あるいは1897(同30)年6月に堺市(旧泉北郡附松町)で創業。ホフマン式輪窯を有し、鉄道工事などに広く煉瓦を提供した。堺市内の煉瓦工場としては一番遅く1947(昭和22)年頃まで製造を続け、その頃には、煉瓦だけでなく、茶碗、湯飲みも製造した。刻印は長円による十字。



堺煉瓦刻印



日本煉瓦刻印

## 2. 日立造船の創業者エドワード・H・ハンター

小野 章(理事)

北アイルランドのスコットランド系の家に生まれたエドワード・ハズレット・ハンターは慶応元年(1865年)22歳の時横浜に上陸、オランダ商人のもとで修業し2年後神戸外国人居留地のE・C・キルビー商会(付図13番14番:現在の神戸市立博物館の地所)に勤務、同商会経営の小野浜造船所で特に業績を上げました。

明治7年に独立し神戸でE・H・ハンター商会(付図29番)を創業、10・11年の西南戦争で利益を得た後、造船業に目を付け、キルビー商会との競争を避けて大阪の安治川河口に14年造船所(大阪鉄工所 Osaka Iron Works)を開設しました。当時は官営事業の払下げが一般的な中、私企業として起業・成功した造船所の稀な例です。同所は軍艦・商船ほか建築用鉄骨などの製造や煉瓦・肥料・保険・製紙・精米・海運なども手掛けて発展、22年日本初の鋼製汽船の建造を開始、27・28年の日清戦争では船舶建造のほか帰還兵用検疫所(内務省衛生局)の緊急建設を成し遂げました。戦後には嫡男の範多龍

太郎に範多家を興させ、所主を譲りました。大阪鉄工所は40年頃に日本3大造船所のひとつとなりました。舞鶴関連では、35年に阪鶴鉄道から受注した福知山・舞鶴間(当時鉄道未開通)を連絡する「第壹、第弐由良川丸」という2隻の鋼製浅喫水汽船を納品しています。

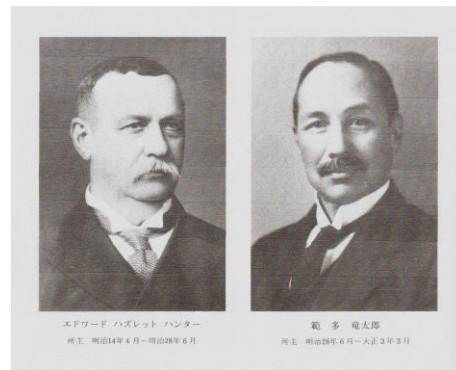
ハンターは賢夫人愛子にも支えられてその後も活躍、大正6年に74歳で逝去、神戸の外国人墓地に眠っています。旧ハンター邸は神戸市の王子公園内に保存されています。また、ハンターが通勤した道は「ハンター坂」とよばれています。

なお、大阪鉄工所は昭和11年に日立製作所傘下となり18年日立造船と改称しました。一方、舞鶴海軍工廠は戦後の21年飯野産業舞鶴造船所として再生、38年日立造船傘下になり舞鶴重工業と改称、46年合併し日立造船舞鶴工場となりました。(以降平成14年ユニバーサル造船舞鶴事業所、25年ジャパンマリユニテッド舞鶴事業所に改称)

※キルビー(KIRBY)の現代読みはカービィです。



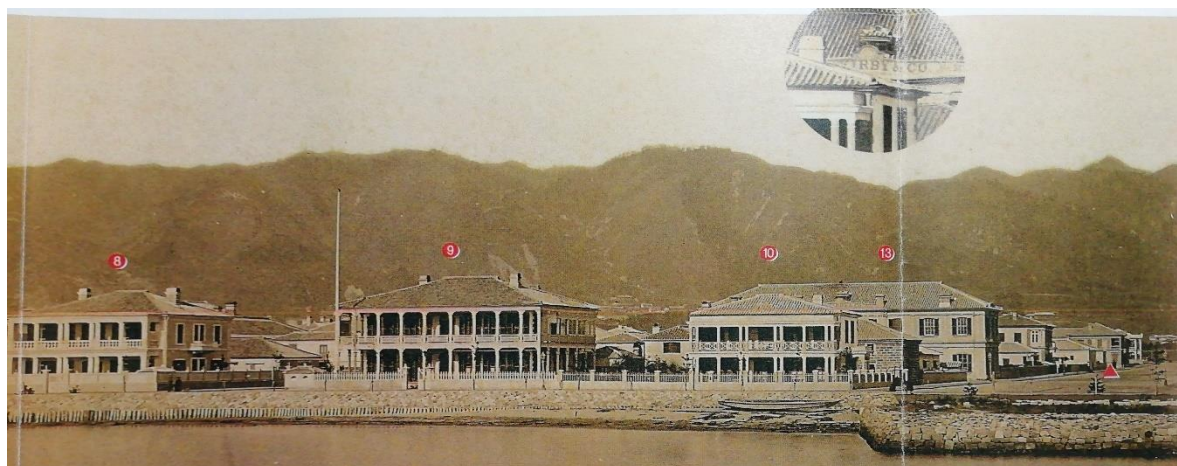
「外国人居留地と神戸」(田井玲子著、神戸新聞総合出版センター刊)より



ハンターと嫡男・龍太郎(「日立造船百年史」より)



王子公園内の旧ハンター邸(筆者撮影)



明治3年ごろの神戸外国人居留地の風景(No.13はキルビー商会、円形写真にKIRBY&Coの綴り)

「絹と光 知られざる日仏交流100年の歴史(江戸時代-1950年代)」(クリスチャン・ボラック著、アシェット婦人画報社刊)から部分借用

**3. 令和6年度赤煉瓦倶楽部舞鶴総会のご案内** **吉岡博之(会長)**

赤煉瓦倶楽部舞鶴の令和6年度総会を下記のとおり開催します。令和6年度に実施予定の神戸市湊川隧道等の市外視察(6月)や市内三浜に残る旧丸山小学校の「温もりのある廃校木造校舎の見学会」(9月~10月)、官設鉄道舞鶴線開通120周年に係る記念事業(11月)の事業計画や予算などを議題とします。つきましては、ご出席の有無を同封のハガキにより5月8日必着でお知らせ下さるようお願いいたします。

記

日時：5月12日(日) 午後2時~  
 場所：舞鶴市字森973-1 「アートスペース973」

当倶楽部企画の本年度の市外視察として、兵庫県神戸市方面の赤煉瓦建築遺産等を訪ねる旅を予定しております。実施日は6月1日（土）で、内容は、神戸市の湊川隧道や芦屋市のヨドコウ迎賓館などを視察する内容です。湊川隧道は、日本初の近代河川トンネルとして1901年（明治34年）に竣工しました。2000年に新湊川トンネルに代わられましたが、120年以上前の貴重な土木技術遺産として活用されています。ヨドコウ迎賓館は、帝国ホテル設計などで有名な米国の建築家F・L・ライトの設計になる邸宅で、国の重要文化財です。その他、神戸の旧外国人居留地の遺構なども視察する内容となっています。行程や応募の詳細は、同封のチラシをご参照下さい。皆様のご応募をお待ちいたします。

湊川隧道（内部と入口） 写真：吉岡博之会長提供

ヨドコウ迎賓館（正面と内部） 写真：同館HPより



## 5. 図書のご紹介：「ランプ小屋の魔力」 笹田昌宏著 イカロス出版刊 ¥2200（税込）

鉄道のブチ煉瓦建築に魅了された著者が、全国のランプ小屋とアーチ橋を取材し報告する本。実用施設だが「魔力」に富む煉瓦建築物への著者の執着を感じます。人類特に男性はものを収集・分類・究明する動物であり、本著者もそれにとりつかれた人でしょう。最古の敦賀港駅のランプ小屋や蹴上の「ねじりまんま」も紹介され、煉瓦の組積法の紹介もあり退屈させません。オールカラー写真。著者は大阪府生まれの医師ながら多くの鉄道関係著書があります。市立図書館で借りられます。



## 編集後記

今号は、6月に実施予定の神戸方面の視察に因み、神戸を本拠に活躍した舞鶴にも縁のあるハンターの紹介を入れました。ハンターは「ハンター煉瓦」も製造しましたが、赤れんが博物館にも1個所蔵されています。文中の福知山・舞鶴間の由良川航路の件、東郷平八郎鎮守府長官も当初は、この航路を使い中央との往來をしていたのでしょうか。ここが最後のご奉公と思い舞鶴に着任した東郷さんでしたが、2年後突如連合艦隊司令長官に就任しました。その後の活躍はご承知の通りです。福知山・新舞鶴間の鉄道は、突貫工事で日露戦争開戦後の明治37年10月に官設として開通、直ちに阪鶴鉄道に貸与されました。（39年に鉄道国有法で全線国有化）

本会の目的（要旨）：赤煉瓦を活かしたまちづくり活動、赤煉瓦ネットワーク交流と他市のまちづくり支援など。

会員の資格：会費納入者 年会費（個人1,000円、団体5,000円）。ご寄附も受け付けます。

会費・寄付等 振込先：①ゆうちょ銀行 四四八店（ヨンヨンハチ店）普通 3679505 口座名義 アカレングクラブマイツル  
又は ②京都市都信用金庫 舞鶴中央支店 普通 口座番号 0686767 口座名義 アカレングクラブマイツル